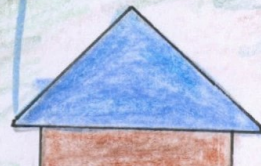


あむくんのいいのちま  
まもる

おはなし



母「この雨じゃお出かけできないわね。」

父「そうだな。」

あむ「お出かけできないなら外で遊んでいいよね？」

父「だめだよ。雨がたくさん降っているから、外に出ちゃあぶない。」

母「カミナリもなってきたわね。外にはいろいろな危険があるのよ。」

あむ「きけん？」

母「例えばね、山が崩れちゃったり、川の水がすごく増えちゃったり……」

あむ「やだ、やだ、こわいよー」

母「じゃあ、おうちの中で遊ぼうね」



おじ「お〜い。川の水が増えてきたってテレビで言ってるぞ〜」

おば「それは大変だ」

あむ「ほく、川見に行きたい！」

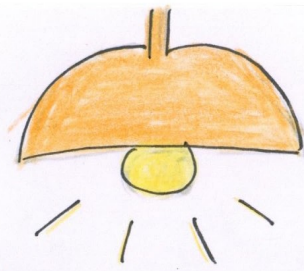
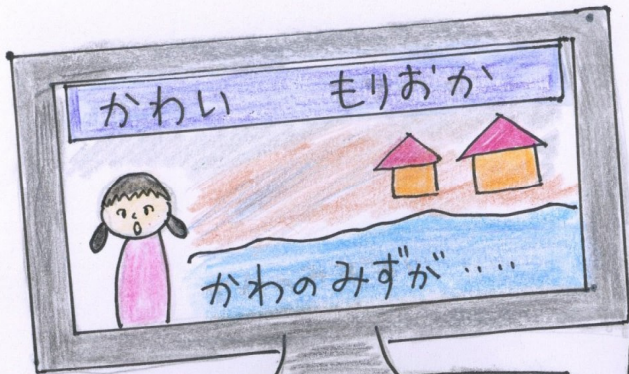
おば「だめだよ。川の水が増えたら川に近づいちゃだめなんだよ。川の水はあつと

いうまに増えて流れが速くなる。流れたら大変。」

あむ「じゃあ、川を見に行くのやめる・・・」

おじ「あむ、いつでもひなんできるように準備しようね。」

あむ「うん！」



神「ふあつふあつふあつ。私は避難準備の神である。」

「今から皆さんに避難に必要なものを教えるぞい。」

「まずうわあ。3日分のおパンツとシャツを持とう！」

(パンツの紙をめくる)

あむ「はい！」

神「そおしてえー、『水とごはん』、これも3日分」

(水とごはんの紙をめくる)

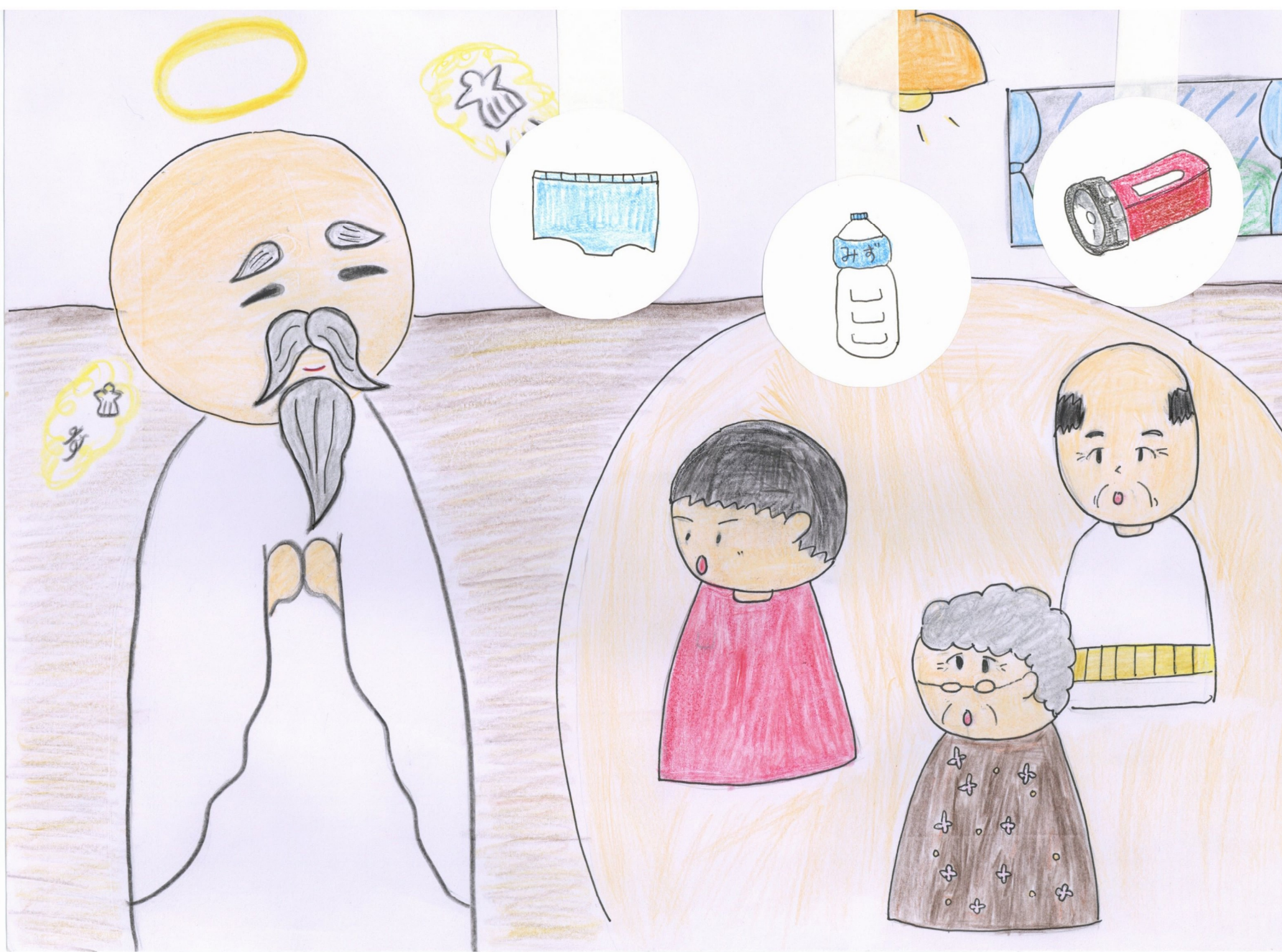
おじ「ほうほう」

神「それからあー、『タオルと懐中電灯』

(懐中電灯の紙をめくる)

おば「了解！」

そしてみんなで避難の準備をしました。



おじ「川の水がどんどん増えてきてるぞ。テレビで早めに避難しなさいと言って  
る。みんな避難するぞー」

母「そうですね。避難所にいきましよう。行動は早い方がいいですものね。」

父「忘れ物ないか。家に戻ってくるのは危ないから戻らなくていいようにし  
なさい。」

あむ「わあ〜い！避難所って楽しそう〜！」

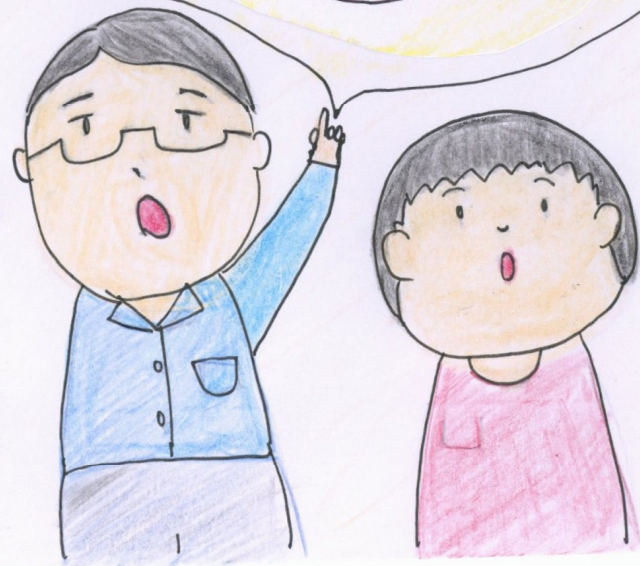
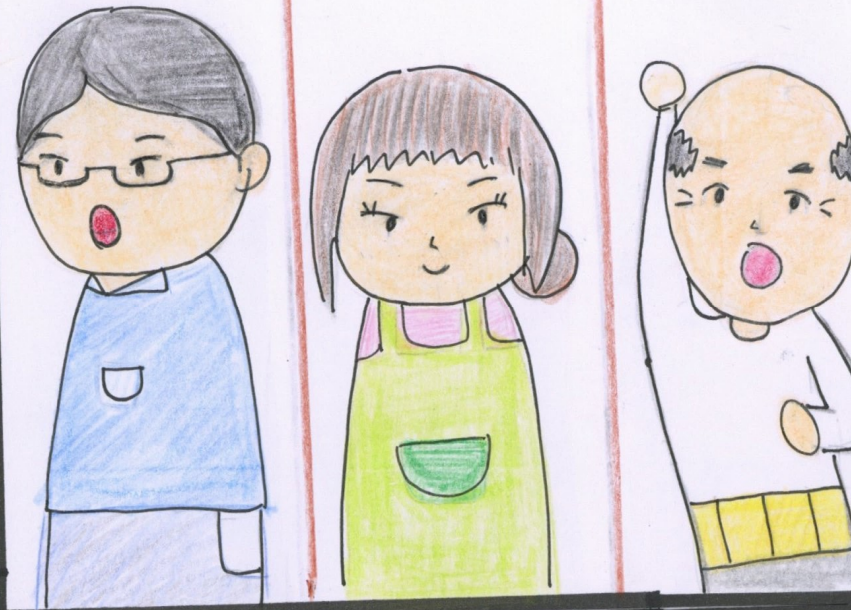
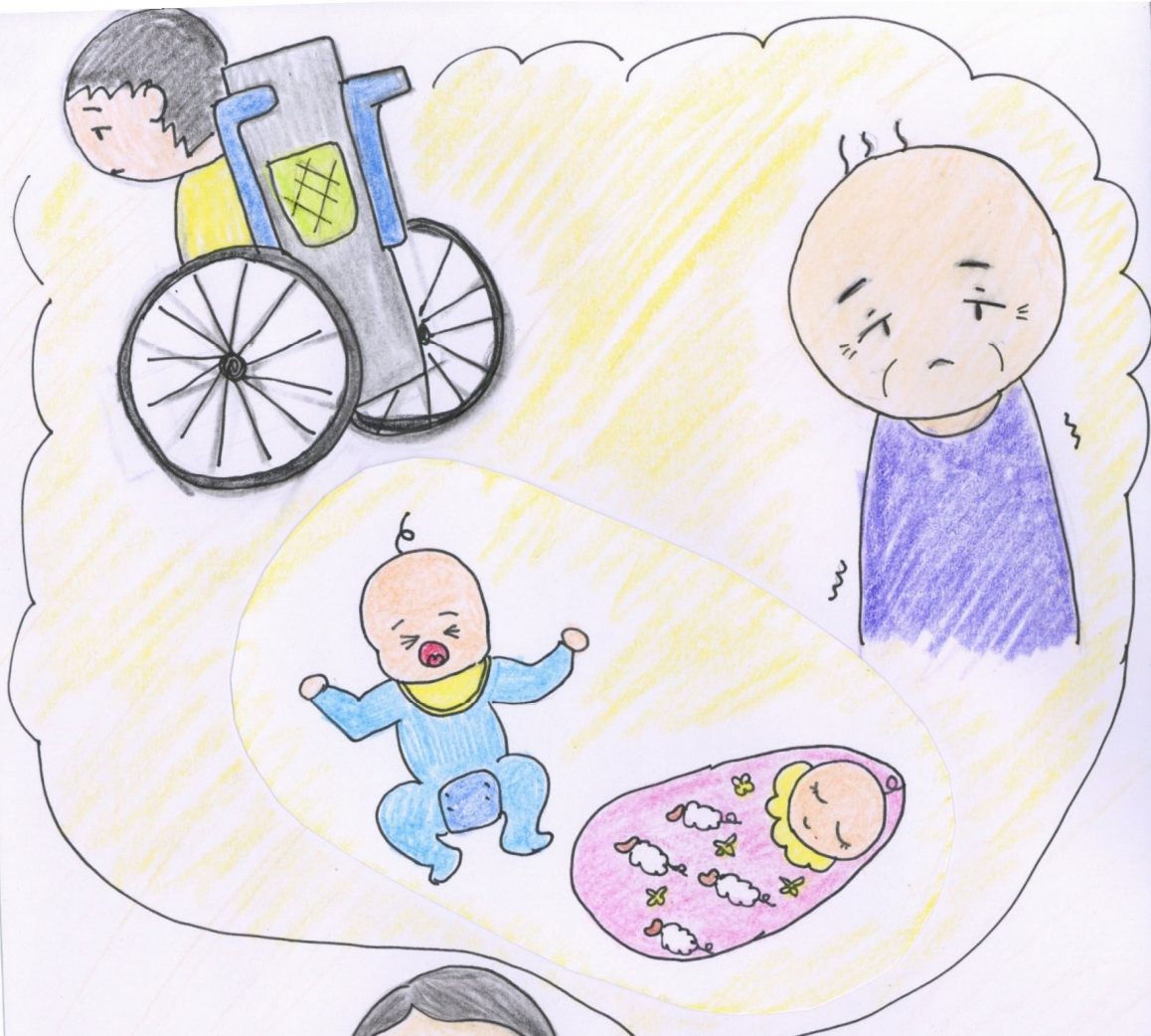
父「こら！ひなん所には、いろんな人いるんだぞ。」

「車いすの人、具合が悪い人、赤ちゃん…そんな人たちに迷惑をかけてはダ  
メだぞ〜」

父「避難所では静かにしようね」

あむ「はい」





神「大雨や地震は、いつ、どこで、起こるか分からないもんじゃ。いつでも自分の命を守るようにしておこうね。」

保育園の避難訓練も、一所懸命にやっておぼえていこうね。」

神「もう一度、確かめるよ。」

- 1 大雨のとき、川を見に行つてはだめ
  - 2 避難するときは、水やごはんを持つ
  - 3 避難所では、家の人の言うことを聞いて、静かにする。
- わかったかな？」

神「あむくんは、避難所でおりにしていたようだね。」

おっと、雨がやんできたようだ。

じゃ、これで私は失礼するよ。ふおっふおっふおっふおっふお。」



あむ「まま。雨やんだよ！」

母「そうね、お空に虹が出てるわよ。」

あむ「ほんとだ！きれい！」

父「避難してたから、安心だったね。あむもおりこうにできたな」

あむ「うん」

おわり。

防災学習をすすめるにあたり、異人館 店主 安倍主税さん、  
宮古市役所 危機管理監 危機管理課 山崎正幸さんにご協力いただきました。  
ありがとうございます。

「総合的な学習の時間」に、防災の学習をしました。

多くの方々から教えていただいたことを皆さんに伝えたいと思い、

紙しばい(幼児向け)      パンフレット(小学生向け・おとな向け)  
を作成しました。

みなさんに「自分の命は自分で守る、みんなで力を合わせて守る。普段から備えることが大事。」ということが  
伝わればうれしいです。

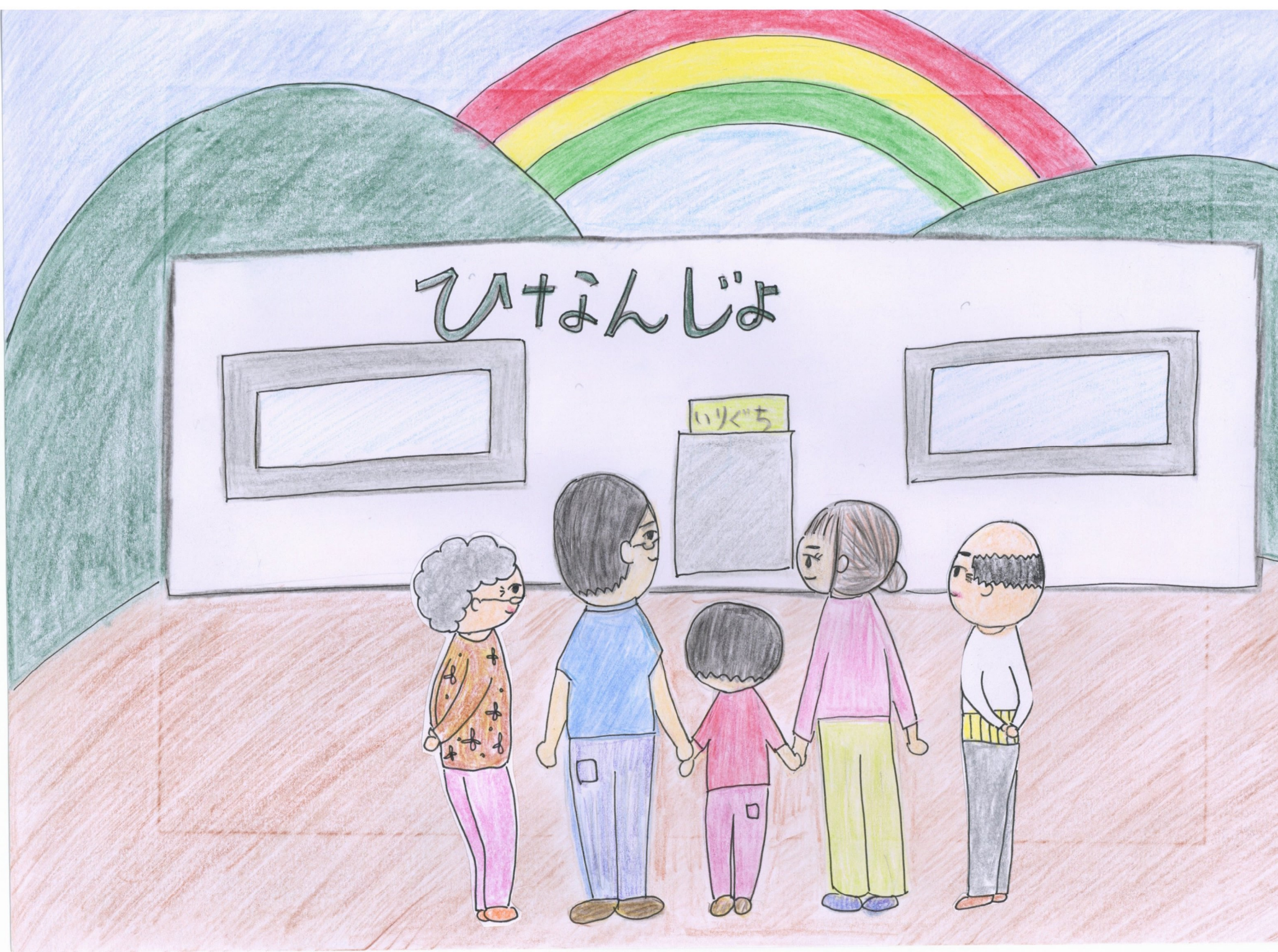
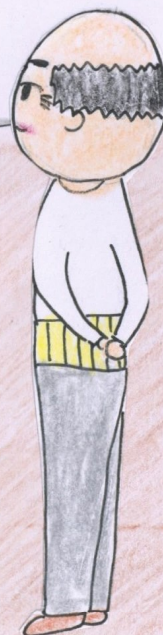
発行者：(幼児向け紙しばい)

令和2年度 宮古市立川井中学校3年 (拓武・優羽・梨緒・木都美)

宮古市箱石4-1 TEL.0193-74-2105

ひたひたじよ

いづち



あむくんのいのちをまもるおはなし

1

これは、ある家族のお話です。

今日は、お外に雨が降っています。

(2がみえるようにずらしながら)

「ぼくは、あむ！今日は、家族でおでかけに行く予定だったんだけど、雨で行けなくなっちゃった……」